

(2) 東北



- 東北地域では、景気は弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。
- ・ 鉱工業生産はこのところ弱含んでいる。
 - ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。
 - ・ 雇用情勢は着実に改善している。

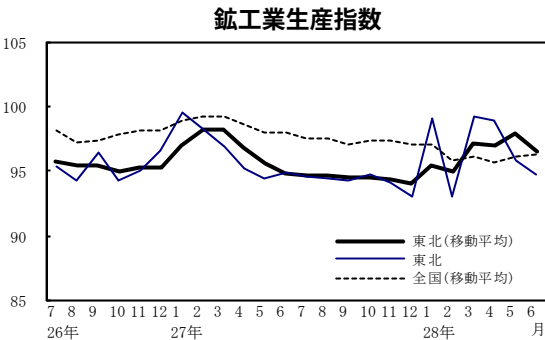
(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 28 年 5 月)	今回 (平成 28 年 8 月)	
景況判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	↓
鉱工業生産	おおむね横ばい	<u>このところ弱含み</u>	↓
住宅建設	増加	減少	↓

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は、このところ弱含んでいる。
4～6月期は、電子部品・デバイスは、スマートフォン、自動車用のコネクタ等が増加した。はん用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置が引き続き堅調なこと等から増加した。食料品・たばこは、酒類等がほぼ横ばいで推移した。情報通信機械は、携帯電話・PHS等が減少した。輸送機械は、3月の挽回生産で乗用車が高水準となったが、5月、6月は減少した。



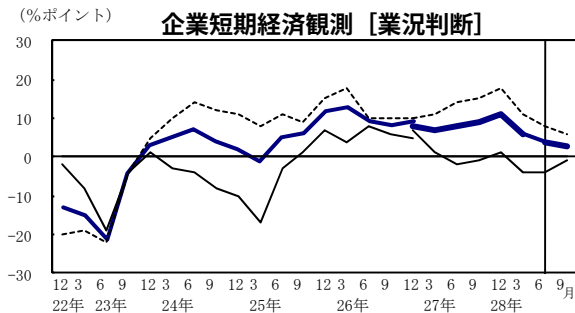
(備考) 1. 22 年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は後方3か月移動平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)						
	付加価値 ウェイト	生産				
		1～3 月期	4～6 月期	4月	5月	6月
電子部品・デバイス	16.9	1.3	4.0	8.2	▲4.4	0.8
はん用・生産用・業務用機械	14.7	7.4	1.6	▲8.9	3.4	▲1.0
食料品・たばこ	10.6	▲1.9	0.7	5.6	▲4.3	▲7.6
情報通信機械	9.2	1.7	▲5.0	▲8.5	0.2	9.4
輸送機械	8.3	▲0.3	6.9	5.0	▲4.0	▲1.4
鉱工業	100.0	3.3	▲0.6	▲0.3	▲3.1	▲1.0

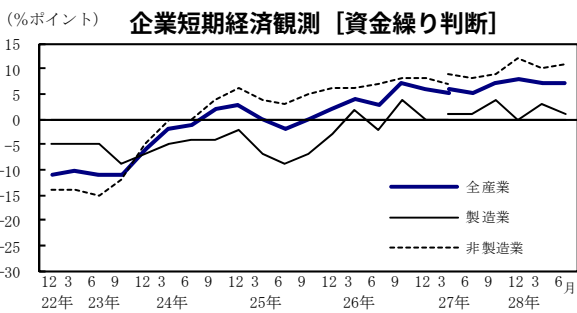
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 4～6月期、6月は速報値。

(2) 企業動向の業況判断は、「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

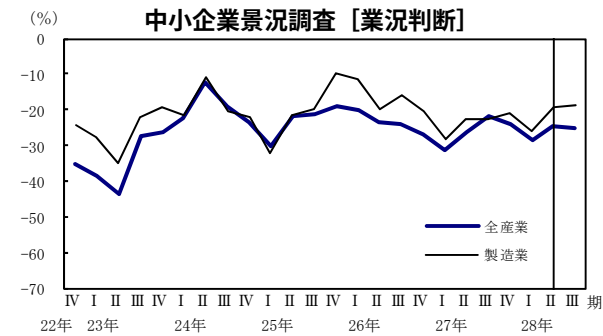
① 企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考) 「良い」 - 「悪い」 回答者数構成比。28年9月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。



(備考) 「楽である」 - 「苦しい」 回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。

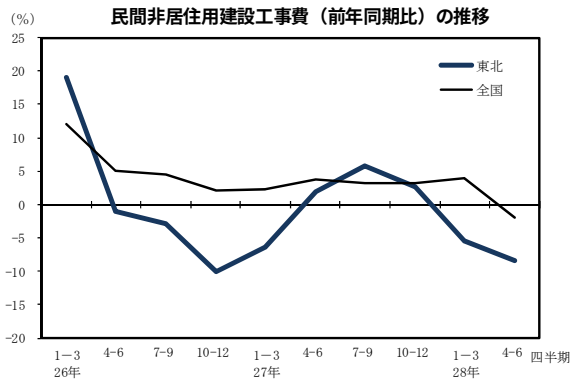


(備考) 「好転」 - 「悪化」 回答者数構成比。28年Ⅲ期は見通し。

② 景気ウォッチャー調査（7月調査結果）[企業動向関連（現状）]

「自動車関連では新世代プラットフォームへの刷新により、数年先まで安定した受注が見込めている（輸送用機械器具製造業）」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は、減少している。



企業短期経済観測調査 [設備投資（6月調査）]

(前年度比、%)

	27年度実績	28年度計画
全産業	▲10.5 (▲1.7)	13.2
製造業	▲11.1 (▲4.4)	30.0
非製造業	▲10.0 (1.2)	▲4.4

(備考) ()は前回（3月）調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。

①地域別消費総合指数（RDEI（消費））

4月は前月比0.3%減、5月は同0.6%増、6月は同0.6%減となった。

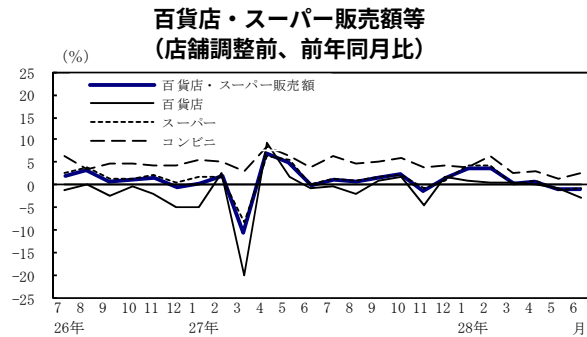
②百貨店・スーパー販売額

百貨店は、4月は、春物コートなどや海外ブランド品などが振るわず前年を下回った。飲食料品やその他の商品は、前年を上回った。5月は、婦人スカート、婦人ハンドバッグや海外ブランド品などが振るわず前年を下回った。飲食料品やその他の商品も、前年を下回った。6月は、全般に夏物衣料が振るわなかったほか、海外ブランド品などが振るわず前年を下回った。飲食料品やその他の商品は、前年を上回った。また、お中元にも動きがみられた。スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回った。

③景気ウォッチャー調査（7月調査結果）【家計動向関連（現状）】

東北地域の家計動向関連DIは、42.2となり前月より1.0ポイント低下した。

「期待されたお中元セールも、来街客の減少により苦戦している。地下鉄の新規路線開通、駅及び周辺の商業環境拡充整備の影響が徐々に表れている（商店街）」など、「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

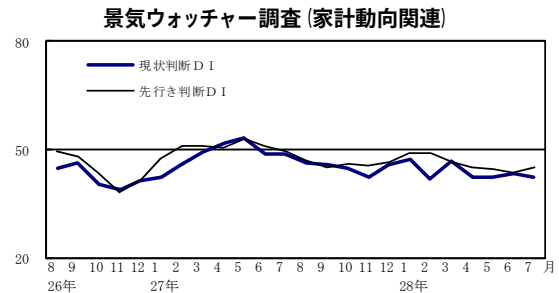
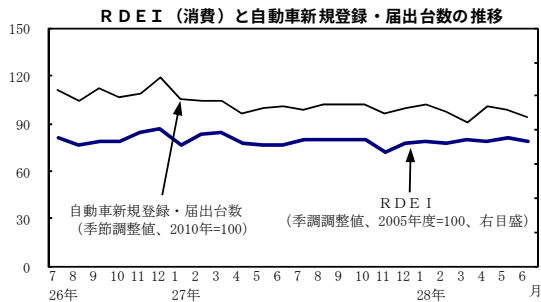


	28年4-6月	28年4月	5月	6月
RDEI（消費*1）	0.3	▲0.3	0.6	▲0.6
百貨店・スーパー(*2)	▲0.4	0.8	▲1.1	▲0.9
百貨店(*2)	▲1.1	0.3	▲0.8	▲2.8
スーパー(*2)	▲0.3	0.9	▲1.1	▲0.5
コンビニ(*2)	2.3	3.0	1.4	2.5
乗用車(*3)	▲3.0	2.0	▲1.0	▲8.6
(季節調整値) (*3)	0.9	10.6	▲2.0	▲5.1

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

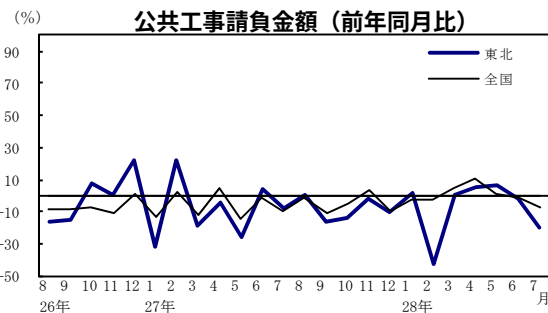
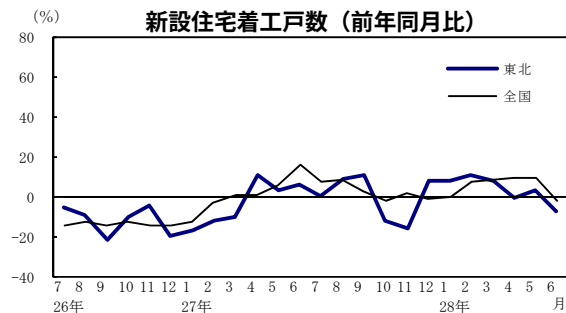
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比)(%)



(2) 住宅建設は、減少している

分譲が前年を上回ったものの、貸家が下回ったことから、全体では減少している。

(3) 公共投資は、28年度累計でみるとほぼ同水準となっている。

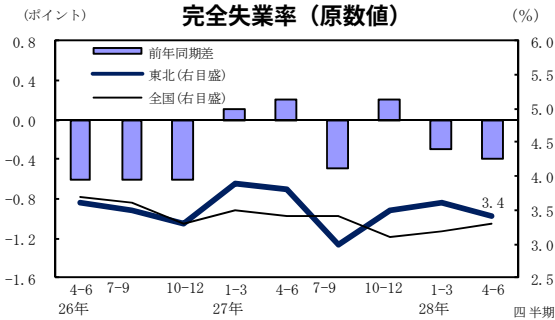
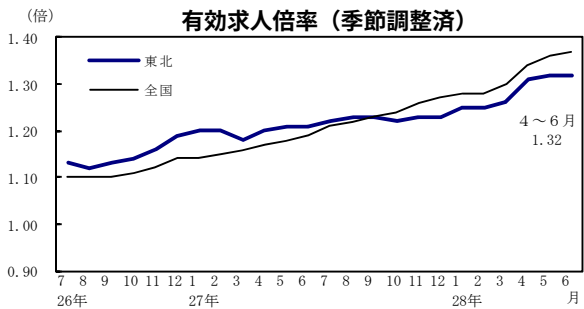


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は、着実に改善している。

①有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



②景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [雇用関連 (現状)]

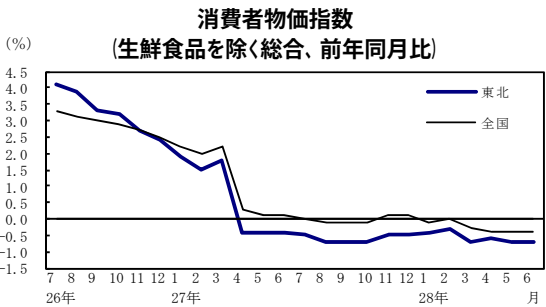
「国体に向けた人手確保を背景に、宿泊業、飲食サービス業の新規求人数が伸びている (新聞社 [求人広告])」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。

(3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅がおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	27年7-9月	10-12月	28年1-3月	4-6月	28年7月
倒産件数 (前年比)	83 ▲25.9	105 8.2	118 0.9	115 5.5	36 24.1
負債総額 (前年比)	173 ▲47.3	331 68.9	219 ▲11.4	245 41.9	48 ▲33.0



○ 景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・衣料品のクリアランスが好調である。来客数に変化はないが、ここ数年あまりなかったセール品のまとめ買いが目立っている (百貨店)。

<先行き>

・この先東北は夏祭りの季節を迎える。また、帰省効果もあり、消費の活性化が期待できる (経営コンサルタント)。

